

1. 事業推進体制

職員配置

職 種	配置基準	人 員			
		正職員		契約職員	
		専従	兼務	専従	兼務
管 理 者	1	0	0.2	0	0
介護支援専門員	1	0	0.8	0	0
看 護 職	1	0	0.2	0	0
介 護 職	7	11	0	2	0
合 計	10人	11	1.2	2	0
		14.2人			

2. 業務内容

職 種	業務内容
管 理 者	事業所を代表し、業務の総括にあたります。
介護支援専門員	ご利用者及びご家族の相談に応じるとともに適切なサービスが提供されるよう、小規模多機能型居宅介護計画の作成・見直し及び地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等、他の関係機関との連携を図ります。
看 護 職	常にご利用者の健康状態を把握し、必要に応じて健康保持のための適切な措置を講じ、ご利用者の主治医や関係医療機関と連携を図ります。
介 護 職	小規模多機能型居宅介護の「通い」「訪問」「宿泊」の提供にあたりご利用者の心身の状況等を把握し、ご利用者に対し介護計画に沿った適切な介護を行います。

3. 事業計画

令和5年度は、ご利用者の役割を示した「当番表」を作成し、それに沿って作業をしてもらいたいと思います。作業内容は、午前・午後の体操係、食後の食器片付け係、テーブル拭き係、植物の水かけ係などで、ホワイトボードに役割内容と作業を担当するご利用者の名前を書き入れ掲示することで、ご利用者自身が自分の役割を確認できるようにします。役割内容は1か月毎に変更、様々な作業が体験でき飽きる事のないように工夫したいと思います。役割表に沿った活動は、ふれあいの里での充実した時間と各ご利用者に沿った自立支援、生きがい作りに繋がるように職員で見守り、時に手助けしながら支援していききたいと思います。

令和5年度も引き続き「ご利用者作品展」を開催します。「山芋スープ」に出展するための園芸活動や毎年恒例の陶芸での干支作製、季節の壁画や小さな飾り物の作製、講師をお招きしての墨絵教室やふれあい通信の配付などを計画、コロナ禍であっても疲弊することなく必要な経費を考慮しながら活発に活動し、サービス利用満足度の向上を図ります。

4. 品質方針

- ①自分や自分の家族が受けてみたいと思うサービスを目指します。
- ②常にご利用者のご家族の立場に立って期待やニーズを理解し、安心して快適な生活、楽しく生きがいの持てる生活を過ごしていただけるよう、きめ細かなケアサービスを目指します。
- ③ふれあいの里のサービスに留まらず、各関係機関と連携することで「24時間・365日」安心して生活できるように支援します。
- ④品質マネジメントシステムを活用、有効性を継続的に改善することで質の高いサービスを維持し、ご利用者及びご家族の満足の向上を目指します。
- ⑤職員の力量を向上することで、質の高いサービスを提供します。又、予算内で事業運営できるように、消耗品などは徹底して節約するよう努めます。

5. 品質目標

- ① ご利用者の役割を示した「当番表」に沿って各利用者が作業をすることで、ふれあいの里での充実した時間と自立支援、生きがい作りを図ります（全利用者の作業実施割合が50%以上）
- ② ご利用者作品展を目指した活動によりサービス利用満足度を100%にします。

6. 品質目標実施計画

品質目標を達成するために、実施項目に沿って実践し、目標達成評価シートで毎月進捗状況を確認し報告することで、ご利用者に楽しく生きがいの持てる生活を支援します。

Aグループ：仲村亜紀・比屋根千夏・知念明美・比嘉いつみ

Bグループ：山田友理恵・島袋常春・比嘉里美・比嘉奈美子

Cグループ：玉城清美・新垣武彦・池原留美子・伊良部清美

令和5年度	目標達成の為の実施項目	実施担当
4月～3月	当番表に沿った作業の実施 当番表に沿った作業を各ご利用者が実施できるように、職員で声掛け見守り、一部介助で対応します	全職員
4月	春の工作 春に関する工作をご利用者と職員が協力して仕上げます	Cグループ
5月	園芸活動の実施 地域の方やご利用者と協力し種芋を植え付けます	Aグループ
6月	ふれあい通信の配付 高齢者に対する情報や事業所紹介などを書き込んだふれあい通信を作成し、ご家族や地域の方々に配付します	Bグループ
7月	夏の工作 夏に関する工作をご利用者と職員が協力して仕上げます	Bグループ
8月	陶芸活動 個性あふれる陶芸作品を仕上げます	Cグループ
9月	秋の工作 秋に関する工作をご利用者と職員が協力して仕上げます	Aグループ

令和5年度	目標達成の為の実施項目	実施担当
10月	墨絵教室の開催 指導者に教えていただく事で墨絵作品を仕上げます	Cグループ
11月	ふれあい通信の配付 高齢者に対する情報や事業所紹介などを書き込んだふれあい通信を作成し、ご家族や地域の方々に配付します	Bグループ
12月	園芸活動 山芋を掘り上げて山芋スープに出展します	Aグループ
1月	冬の工作 冬に関する工作をご利用者と職員が協力して仕上げます	Bグループ
2月	作品展の開催 令和5年度に製作したご利用者の作品を展示して、ご家族や地域の方にご覧いただきます	仲村 山田 玉城
3月	満足度の確認 日中活動を含むサービス利用満足度を確認します	新垣

7. ケアプランの策定

(1) ケアプラン（居宅サービス計画書）

作成担当者を介護支援専門員とし居宅サービス計画を作成するものとします。

- ① 課題分析により、解決すべき課題を抽出し、ご利用者及びご家族の要望を勘案し、サービス計画書原案を作成します。
- ② サービス担当者会議を開催、ご利用者、ご家族、主治医、関係事業所及び介護サービス提供にあたる介護職員、看護職員を招集しサービス計画書原案の内容について、専門的な見地から意見を求めます。
- ③ サービス計画書の内容は、ご利用者又はご家族に対して説明し同意を得て交付します。
- ④ サービス計画書を作成後、サービス実施状況の把握を行い必要に応じて変更を行います。

(2) 小規模多機能型居宅介護計画書（小規模計画書）

作成担当者及び手順作成担当者を介護支援専門員及び担当職員とします。

- ① 小規模多機能型居宅介護計画書の作成に当たっては、地域における活動への参加の機会やご利用者の生活環境に応じた日中活動（園芸・農作業・家事作業など）及び趣味又は嗜好に応じた活動が確保できるように努めます。
- ② 小規模多機能型居宅介護計画書の内容についてご利用者又はご家族に対して説明し、文書によりご利用者の同意を得て交付します。
- ③ 小規模多機能型居宅介護計画書を作成後、介護計画の実施状況を記録し6ヶ月毎に評価見直しを行います。

8. 介護サービス

(1) 生活活動サービス

ご利用者の生活環境や趣味嗜好に応じた余暇活動、生活活動を行い、生き甲斐づくりを支援します。

- ・家事作業の継続支援（できる事を継続できるように支援）

- ・余暇活動への参加促し（園芸・グランドゴルフ・カラオケ・陶芸・手工芸等）
- ・行事参加への促し（こいのぼりフェスタ・社会見学・花見・夏祭り・敬老会・節分等）

(2) 食事サービス

ご利用者一人ひとりにあった食事形態や摂取量で食事を提供します。又、楽しく落ち着いて食事ができる環境づくりに努めます。

- ・高齢者向けの調理
- ・ご利用者に合わせた食事の形態
- ・食事摂取量の確認
- ・職員と一緒に会話しながら落ち着いて食事が摂れる雰囲気づくり

(3) 排泄サービス

トイレでの排泄を可能にするために「行きたいときにトイレに行くことができる」よう、ご利用者の生活リズムに沿った支援と「トイレの場所が分かる」工夫を行い、自立支援に努めます。

- ・排泄パターンの把握
- ・トイレでの排泄援助
- ・トイレまでの経路が分かるよう目印をつけ、自分で行けるように支援します。

(4) 入浴サービス

安全やプライバシーに配慮して自宅での習慣に合わせた手順で実施します。

- ・ご利用者の要望に沿った入浴時間
- ・入浴一連の手順

(5) 訪問サービス

ご利用者、ご家族の様態や置かれている状況に応じて訪問サービスを提供します。

- ・配食サービス
- ・訪問入浴
- ・安否確認（健康チェック）
- ・ご家族への介護指導

(6) 宿泊サービス

ご利用者やご家族の様態やご要望に応じて、宿泊サービスを提供し一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ち良く眠れるよう支援します。

- ・生活リズムに合わせた就寝、起床時間の把握
- ・ご家族の介護負担の軽減

9. リハビリテーション活動目標

ご利用者の状態把握に努め、生活の自立向上が図れるよう支援します。

- ・機能訓練
- ・生活リハビリ
- ・残存機能の活用
- ・生活レベルの向上

10. 一日の流れ

- 6:00 起床（宿泊者）洗顔・整容・排泄
- 6:30 朝食（宿泊者）口腔ケア・排泄
- 8:40 通い利用者のお迎え開始
- 9:30 バイタル測定・水分補給
- 10:00 朝の会（点呼・職員紹介・新聞情報の提供・食事内容の伝達）
- 10:30 機能訓練・学習療法（脳トレ）・入浴の開始
- 12:00 昼食・口腔ケア・排泄
- 13:30 個別活動・レク活動
- 15:00 おやつ
- 16:00 ご利用者の送り（16時・17時・18時）
- 17:00 夕食・口腔ケア・排泄・テレビ観賞
- 20:00 就寝

11. 行事計画

夏祭り、敬老会、運動会等の家族が参加できる行事を開催、社会見学や読谷まつり、花見ドライブなどの外出支援活動を通して他者と交流し楽しんでいただけるように支援します。

※新型コロナウイルス感染拡大状況により内容を変更することがあります

令和5年度	内 容		担当者
4月	こいのぼりフェスタ 多数の鯉のぼりを揚げ、地域の子供たちの健やかな成長を願いつつ、近隣の方に喜んでいただくことを目的とします。	20,000円	島袋 比屋根
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
5月	地域密着型運営推進会議の開催（第1回）	2,500円	管理者
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
6月	社会見学（外出支援） 外の景色を楽しみながら、いつもと違う環境で食事を楽しみます。	30,000円	新垣 比嘉
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
7月	夏祭り ご利用者やご家族等を招待し盆踊りや食事（バーベキュー）を楽しみながら親睦を図ることを目的とします。	70,000円	山田 島袋 比嘉
	地域密着型運営推進会議の開催（第2回）	2,500円	管理者
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
8月	喜名青年エイサー演舞鑑賞 演舞を観賞することで旧盆を思い出し懐かしんでいただくこと（回想）を目的とします。	2,500円	超遅番
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
9月	敬老会 ご利用者やご家族、地域の方が集い、交流を図りながら長寿を祝うことを目的とします。	120,000円	仲村 新垣
	地域密着型運営推進会議の開催（第3回）	2,500円	超遅番
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
10月	運動会 青年時代や子育て中に参加した運動会を思い出しながら、近隣保育園の園児たちと楽しく競技することを目的とします。	30,000円	玉城 比屋根
	読谷祭り見学 地域の祭りに参加することで、知人と交流、食べたものを購入して祭り会場でいただきます。	5,000円	島袋 超遅番
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番

令和5年度	内 容		担当者
11月	デイサービス活動展 ご利用者が作製した作品を読谷村役場フロアに展示して、家族や地域の方に見ていただき交流を図ります。	3,000円	池原 仲村
	地域密着型運営推進会議の開催（第4回）	2,500円	管理者
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
12月	山芋スープに参加 5月に植え付けた山芋を掘り起こして喜名自治会で開催される山芋スープに出展することを目的とします	30,000円	仲村 比嘉
	クリスマス忘年会 クリスマスの雰囲気を感じながら一年のまとめとして楽しい時間を提供することを目的とします。	50,000円	池原 比嘉
	年賀状作成・発送	6,000円	比屋根
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
1月	新年会（山芋パーティー） 正月遊びを楽しみ、新年の抱負を語り合いながら、12月に掘り起こした山芋を使った数種類の料理を堪能します。	15,000円	玉城 知念
	地域密着型運営推進会議の開催（第5回）	2,500円	管理者
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
2月	節分 赤鬼、青鬼の出現と共に豆まき（ボール投げ）を楽しみ、無病息災を願うことを目的とします。	3,000円	新垣 知念
	ふれあい作品展 ご利用者の作品を展示して、ご家族や地域の方に見ていただく事で、達成感と満足感を味わい喜んでいただくことを目的とします。	5,000円	仲村 山田 玉城
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番
3月	花見ドライブ 春の暖かい陽気を感じながら外出を楽しみことを目的とします。	10,000円	伊良部 比嘉
	地域密着型運営推進会議の開催（第6回）	2,500円	管理者
	おやつ会（月2回）	1,000円	超遅番

12. 地域交流

(1) 実習・ボランティア

福祉の仕事を目指す学生を受入れることで、将来の福祉人材の育成及び現職員の指導者としての力量確保を図ります。実習簿や反省会等を通して実習生や教員の方のご意見を頂き、サービス改善の機会とします。また、ボランティアを受入れ地域交流を図ります。

実習依頼元	ボランティア
沖縄リハビリテーション学院	喜名保育園（行事参加&友愛訪問）
ソーシャルワーク専門学校	沖縄結舞踊（福祉レク&舞踊）
学校からの職場体験	地域住民（音楽・お菓子作りなど）

(2) 地域活動

介護知識と介護技術を地域住民に提供することを目的とします。
地域の行事等に参加することで地域の一員としての役割を果たします。

令和5年度	内容
随時	地域住民からの相談に応じ対応します
広報活動（6月・11月）	高齢者に関する情報をふれあい通信で配付します
5月	喜名区団体清掃で地域の方と一緒に清掃活動に参加します
8月	喜名区カーサレー行事に参加します
適宜	喜名保育園の行事や防災訓練に協力参加します

13. 職員教育訓練計画

【社外研修】

ご利用者が可能な限り自立した日常生活ができるよう食事・入浴・排泄援助に関わる援助技術・知識の習得を目的とします。

対象	内容
管理者 介護支援専門員 看護職	小規模多機能型居宅介護事業所連絡会及び研修会 その他、必要な研修を随時受講
全職員	九州老人福祉施設職員研修大会 認知症に関する研修、感染対策研修、身体拘束の取組に関する研修 沖縄県老人福祉施設職員研究大会 救急救命講習会

【社内研修】

サービスの質の向上と職員の力量向上を目指して教育訓練を実施します。

令和5年度	勉強会内容	指導者
4月	倫理及び法令順守（職員の言葉遣い）	仲村
5月	緊急時の対応（火災・地震など） 事故発生時の対応	新垣 伊良部
6月	認知症及び認知症のケア	玉城
7月	介護技術（利用者の移動・移乗介助）	比屋根・比嘉
8月	感染症及び食中毒の発生予防とまん延防止	知念
10月	ヒヤリ・ハット事例について（上半期集計）	仲村
11月	個人情報及びプライバシーの保護	比嘉・玉城
12月	ISO 勉強会	山田・仲村
1月	介護技術（利用者の入浴一連の介助）	池原・比嘉
2月	身体拘束について	比嘉
3月	ヒヤリ・ハット事例について（下半期集計）	仲村

14. 防災訓練計画

火災等の予防とご利用者の安全及び被害の軽減を図ることを目的に災害管理規程に沿って実施します。

- ① 防災訓練、消火訓練及び避難誘導訓練（年2回）
- ② 防災設備点検（機器点検、総合点検）
- ③ 建物、消火用設備等の自主点検（5月・7月・9月・11月・1月・3月）

15. 固定資産・備品購入・補修工事計画・その他

品目	金額	備考
ダイニングテーブル×3	210,000円	劣化に伴う買替
血圧計（2台）	40,000円	不足分の補充